

JK妹のメスガキおまんこ実習♪
「おまんこのお勉強ちまちようねえ♪」

「こんにちは～♪ 今日は童貞卒業支援サービス『現役JKのセックス家庭教師』を依頼いただきありがとうございます♪」

「プランは本番無しで、女の子のおまんこ勉強プランで間違いないですよね？ あ、これ証拠の学生証です。見えてますか～？」

「間違いなければ開けてください♪ お願ひします～♪」

「あ、どうも～♪ 今日はよろしくお願ひします～♪

「え？ あ、え、ちょっと……え、ええええ～～～？」

「お、お兄ちゃん～？」

「な、何でお兄ちゃんがこんなとこに！ って、あつ～。やういえばお兄ちゃんの引っ越し先って……え？ でも、ええ？ 偶然って……そんな事ある？ 奇跡でしょ」んなの……」

「んん？ ってか、え？ わざわざセックス家庭教師……しかも現役JKプランを予約するって……もしかして、お兄ちゃんって童貞さんなの？」

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

「うふふ、あは♪ あははははは♪ えええ？
え？ え？ ええええええええ？？ お兄ちや
んつて♪ 童貞さんなんだ♪ 女の子のや
わらか♪い感触も知らない、情けないど・う・
て・い・さん♪」

美紀

「ふふふふ♪ しかもわざわざセックスの仕方を教
えてもらおうとこんなサービスまで頼んじゃつ
てえ♪ それもお姉さんプランじゃなくてJK♪ラ
ン♪ ふふふふ♪ 変態さんだあ♪」

美紀

「え？ 私？ 私はちゃんと許可取ってますしい♪
セックスやおさわり厳禁のソフトコース担当だ
からね♪」

美紀

「セックス好きな友達とかは本番ありコースの担当
だつたりするけど、私、知らない人に触られるの
とか論外だし」

美紀

「……ん、ふふ♪ つてかあれだね♪ お兄ちや
んつてばセックスコース頼まなかつたんだ？」

美紀

「だつて、セックス無しコースつて、まだ精通して
ないようなお子様向けコースだよ？ お子様に女
の子のエッチな部分を教えてあげる為の家庭教師
プランなのに……お兄ちゃんつてばその歳になつ
てセックスが怖いの？ あははは♪ なつさけな
うい♪」

美紀

「ん？　んん？　怒つた？　怒りわやつたあ？　え
へへへへ　でも事実だよねへへ　おまんこセック
スは怖いけど、おまんこは見たい変態さんなんだ
もんねへ？」

美紀

「あははははへ　はあへへ　顔真っ赤にしちゃつて
へ　もへへへ　面白いなへお尻ちやんぱへ」
「ん、いいよ？　依頼金も貰つちゃつてるしへ　今
田は一日かけて女の子の体、お尻ちやんに教え
んであ・げ・るへ」

美紀

「楽しみにしてるへ　お尻ちやんへ」

◆アラシク〇〇

美紀

「おひじやまつしまへすへ」

美紀

「うへ、わあへ意外と綺麗にしてるんだねへへ
ちょっとビックリだよおへ」

美紀

「いやへ家事も出来て仕事も出来て、更には顔も…

……んんへ……及第点へ　へへへくくへ　[冗談] [冗談]

♪　かへじじじよへ　平均よろせへ」

美紀

「妹目線でも悪くなじと恥づのこ……ふふふふへ　そ
の歳で童貞、なんじ……へ　あはははへ　「」ぬん
「」ぬんへへ　そんな拗ねないじどよおへ」

美紀

「ふふふ、馬鹿にして！」めんね？　お読みに、一日かけて妹の私が文字通り一肌脱いだげるから♪
しつかり自信を付けていつか童貞をしてられる
ようになりましょうね～♪」

美紀

「はい、返事はビックリしましたか～？　え～？　当たり前でしょ～？　今日は私がお兄ちゃんの先生なんだから♪　生徒はきちんと先生にお返事しないとダメですよ～？　あ、いや♪　ダメでちゅよ～？」

美紀
美紀
美紀

「は～い♪　よくできました♪　ではベッドの前に正座になつていい子で待つてね♪」

「ほほお♪　お兄ちゃんも素直になつてきたね♪
」褒美にいい子いい子してあげる♪

美紀

「んん♪　それ、いい子いい子♪　いい子いい子♪」

美紀

「はうう♪　何かお兄ちゃんをナーテナーテするなんて初めてで……あつあつあつうう♪　これヤバイ♪
なんか胸がキュンキュンしちゃう♪」

美紀

「んん♪　ナーテナーテ♪　ナーテナーテ♪　いいこいいこ♪　じぶじぶじぶ♪　じう事聞けて偉い
でちやね～♪　ばぶばぶ～♪」

美紀

「ん？　あはは～♪　「ねんね？　ちょいと樂しくつて調子に乗りすれちやつた♪」

「ん♪ お兄ちゃんももう我慢できないつて顔になってるし、女の子の事♪ 教えてあげる♪」

「まずはおっぱいについでね♪ 今から上着脱ぐからしっかり見てるんだよ♪ 本番セックスの時に上手に脱がせられる男の子はモテるんだから♪」

「ん、なんかちょっと恥ずかしいね♪ 今まで精通もしてないショタ君にしか見せてこなかつたから……しかも、初めて見せる大人がお兄ちゃんなんで♪ んん♪ ヤバ♪ ちょっと興奮しちゃう♪」

「ん、んん♪ しょ……っと……はふう♪ 脱げたよお兄ちゃん♪ つて、あれ？ ちょっとお兄ちゃん！ 何顔背けてるの！ 恥ずかしがつてないでこっち見て！ ほらこっち！」

「ん、それでおしあまつたく、童貞さんは恥ずかしがり屋が多くて困っちゃうね」

「ほら、どり？ 現役JKの生おっぱいは？ つて、あはは♪ お兄ちゃんったら夢中でおっぱい見てえ♪ ねえねえ？ 綺麗？ 可愛い？」

「ふふふ♪ 私のおっぱいは凄い人気でね？ 数十万払って触りたいなんて人もいるくらいなんだよ？」

美紀

美紀

美紀

美紀

「まあ私はおそれらNG�^ハだから絶対そんな事をせないけど、あ、今残念がつた？　おっぱい触れなくて悲しくなっちゃつた？」

「ふふふふへへ 可愛そつなおにいちゃんへ じん
な綺麗なピンク色の乳首を目の前に手がだせない
んだもんねへへ」

「ほー、」ハヤつておっぱいを指で持ち上げて……ふるふるん♪ 分かる、お兄ちゃん？ 私の指がおっぱいに埋もれて、形が変わつてくと♪

「持ち上げる度にもちもちの肌が吸い付いて、指が沈んで……あん、や、ダメ、お兄ちゃんに見られながら揉んでる、ちょっと、んん、興奮してきちゃつた、」

「あ、や、あん、はあ、はあ……え、えへへ

お兄ちゃん、田嶋すがわ、血走ってるじやん
えへへ、いじよ。もつと見て?」

「はあ、はあ……おっぱいもみもみしてえ、感じてる妹を……エッチに悶える妹をよく見てえ♪」

「ん、あ、んあ♪ あ、あ、んん♪ んつ！」

美紀

「んん♪ はあ、はあ……ねえ? 」♪♪♪ 乳首の先っぽ、分かる? 童貞のお兄ちゃんは分かんないかも、ん♪ ださど♪ 女の子はね? ハツチな気分になると……あん♪ ん、えくく♪ こ♪ 乳首がね? おちくびと回じく、そん♪ 勃起♪ しちやうんだよ!」

美紀

「はあ、はあ……ん♪ はあ……ふう♪ そ♪ そ♪ 勃起乳首♪ 今お兄ちゃんの田の前にあるこれ♪ ピンク色でシミ一つない、誰にも触らせたことのない処女乳首♪ じつぱい観察して覚えてね♪」

美紀

「あ♪ んん♪ あ、やあ♪ お兄ちゃん恵荒いい♪ 乳首の先端にそんな熱い息、んん♪ 吹きかけられたらあ♪ こんなの、んん♪ やあん♪ 乳首だけじゃなくてえ♪ おまんこ♪ も♪ あ、あん♪ 感じちゃうよお♪」

美紀

「はあ、はあ……ん♪ ダメダメ♪ ダメだよ? お兄ちゃん♪ お触りNGなんだから♪ はあ、はあ、ん♪ 勃起乳首見るださ♪ そういう契約でしょ? ん、んん♪ んあ♪ あん♪」

美紀

「あ、ひやあ♪ セリ……むひよお♪ もつと見てえ♪ 妹がおっぱいでオナニーする所じつぱい見てえ♪」

美紀

「はあ、ん♪ あ、あ、ああ♪ ん、あん♪ 乳首い♪ 乳首♪ 乳首♪ 勃起乳首♪ んん♪ はあ、はあ、んん♪ 気持ちいいよお♪ おつぱいい♪ 乳首コリコリしてえ♪ んつ、あ、あん！ やつ！ だ、ダメえ♪ お兄ちやんの前で乳首い♪ 気持ちいいよお♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ ねえお兄ちやん？ 興奮してる？ おちんぽ勃起してくれてる？ はあ、はあ……んん♪ 妹の勃起乳首見ながらあ♪ お兄ちやんのお……お・ち・ん・ぽ♪ シコシコしたい？」

美紀

「んん♪ ふふふ♪ やあん♪ お兄ちやんつたらあ♪ そんな涎垂らしながら興奮してえ♪ ん♪ いいよ♪ 私に触るのせNGださう、自分のおちんぽシコシコするのせ自由だからね♪」

美紀

「ん♪ はあ、はあ……えくく♪ 妹の、ん♪ 勃起乳首オナニー見ながら、おちんぽお♪ シコシコしてえ♪ セックスの準備の仕方♪ いつぱい覚えよう♪ ね？」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ ほーら♪ ゲボンからおちんぽ出・し・て♪」

美紀

「あは～、おちんぽ出しちゃったねえ～、妹の前で情けなく涎垂らして、おちんぽもだら～んて見せつけちゃつて～、んん～、わあ～、私の乳首と同じで勃起してる～、はあ、はあ……んん～、おちんぽ可愛いねえ～、おちんぽお～、おちんぽ、おちんぽお～」

美紀

「ふふふふ～、おちんぽひで囁かれてまた大きくしてえ～、ほんと、お兄ちゃんつば救いようのないへ・ん・た・い・わん～」

美紀

「そうだよ～、お兄ちゃんは変態なんだよ～？妹で勃起しちゃう変態～、ロリコノ～、ドスケベ～♪、性犯罪者予備ぐ～ん～」

美紀

「あははは～、な～に～～、お兄ちゃんつたら～んな罵られで興奮しちゃうの～、はあ～～、ほんともつ～、今まで見たことないよ～～、こんな厭らしげ生徒は～」

美紀

「でも～も～、そんな生徒の面倒も、私はちや～んと見てあげるからね～～、だからじつぱいシコシコしよ～、せら、ん～、あ、あん～、はあ、えへへ♪、私のピンク乳首見ながらおちんぽシコシコしよお～」

美紀

「ほ～り～、し～」し～」し～」し～」し～」し～」

美紀

「うん、上手上手、おちんぽシロシロ上手だね
ん、ん、あん、やあ、ダメだよお兄ちゃん、
ん、シロシロ興奮して息、や、荒いよ～」

美紀

「はあ、はあ……ん、ん、乳首、鳥肌立つて
ん、やん、はあ、はあ……」れ、気持ちいい、
お兄ちゃんの息気持ちいいのお、」

美紀

「はあ、はあ、お、お兄ちゃん、ダメだからね?
じぐら興奮してるからって絶対に乳首舐めちゃ
ダメなんだからねえ?」

美紀

「んん、代わりに、はあ、ん、あん、わ、
私が特別にじ、耳元で囁きながらオナサポ、
してあげる、」

美紀

「ほへり、シロシロ、シロシロ、シロシロ、
「へ、おちんぽ、おちんぽ、おちんぽ、
おちんぽおへ、」

美紀

「シロシロ頑張りて、女の中を知らないおちんぽ
に、じいぱい気持ちよさを覚えさせようね、ほ
りせり、おちんぽシロシロ、おちんぽシロシ
ロ、」

美紀

「あん、おちんぽシロシロ激しくなってきたね、
もうイキそうなの? え? まだ我慢でき
ない、ん、ん、情けない顔しながら強がつ
ちやつてえ、お兄ちゃんつたら可愛いんだから
~」

美紀

「なら私も、もつと乳首激しくコリコリしちゃう
ねえ♪ ん♪ あ、ひやん♪！ あ、あ、あ♪
これいい♪ 涙い♪ 乳首い♪ お兄ちゃんの
イキかけの顔見ながらのオナニー♪ 気持ちいい
よお♪」

美紀

「んひやつ！ はあ、はあ……♪ んん♪ あ、ん
あつ♪ はあ、はあ……ん、んんんん♪ ん
ひやつ！ やつ！ ひやああん！？」

美紀

「ん♪ んん♪ あ、ひや♪ あ、あああ……♪、
ごめんねえ♪ お兄ちゃん♪ おっぱい揉みすぎ
てお兄ちゃんの顔に当たっちゃつた♪」

美紀

「ん♪ 今のは私が悪いから、ノーカン♪
はあ、はあ♪ おっぱいサービスって事で♪
ん、あ、あん♪ ラッキーだねえ♪ お兄ちゃん
♪」

美紀

「偶然とはいえ、私の処女乳首に触れた初めて男の人だよ♪？ ん♪ 光栄だねえ♪ 童貞のくせにい♪ 処女乳首に触れた、なん、てえ♪ 一生自慢できるね♪」

美紀

「今の感触を思い出してえ♪ もつとお♪ おちん
ぽシコシコしよお？ 乳首い♪ ん♪ はあ、
はあ……見てえ♪ じつぱいシコシコしてえ♪」

美紀

「ん、ひゃぐふ、う、ううふ、はあ、はあ……ふ
それそれふ、し~」し~」し~」し~」し~」
し~」し~」し~」し~」

美紀

「おちんぽ頑張れふ、おちんぽ頑張れふ、おちん
ぽ頑張れふ、おちんぽ頑張れふ、おちん

美紀

「おちんぽふ、おちんぽふ、おちんぽふ、おちんぽ
ふ、はあ、はあ……んふ、ほりほりふ、ちんぽ
ふ、ちんぽふ、ちんぽふ、ちんぽおふ」

美紀

「あやつ……やあふ、お兄ちゃんつたらあふ、手
だけじゃなくて腰までくつく動かしてふ、んふ
はあ、すう」ふ、あんふ、情けない恰好だよ?
変態だねふ、ド変態だねふ」

美紀

「はあ、はあ……んふ、やあふ、何だか、私まで
気分高まつてきちゃつたよ……んふ、はううう
ふ、はあ、はあ……んふ、はあ、はあ……
ちよつとだけサービスしてあげたくなつてき
ちやつたふ」

美紀

「ね? お兄ちゃんふ、今からひとつおきの前戯を
教えてあげるふ、童貞のお兄ちゃんには刺激が強
すぎるかもだけど、しつかりー」の快楽、覚えて
いいし、ねふ、いくよふ~」

美紀

「せっぴー、んん、わわ、わわわわわわー、れ
ぬー、んん、わわ、わわ、わわ、わわ
わわわー、ん、わわわわー、れわわわ
わわ、わわ、わわ」

美紀

「はあ、はあ……んん、じい、じいクリし
ちやつたかな？ 今ね、お兄ちゃんのお耳を舐
ぬちやつたの？」

美紀

「契約上私がお兄ちゃんに触れるのは問題ないから
ね、いつぱいお兄ちゃんのお耳を犯してあげる
から、シロシロ止むわやダメだよ。」

美紀

「はい、じゃあこゝもす、れへへ……ぱりゅ
ぬー、んわわ、れわわわー、わわー、
わわわー、わわ、れわわわー、わわ
わわわわー、んー、わわー、わわわー、
れわわわわわわー……んん、わわ」

美紀

「はむー！ んん、わわ、わわ、わわ、わわ
わわわ、んん、お兄ひやー、んん、
わわわー、わわ、わわわわー、わわー！
わわわわわわわわわわわわ、わわ」

美紀

「シロシロー、んーわわ、わわ、シロシロー
ー、わわ、わわ、わわー、わわー、れわわわー……わわ
おわんぱおー、おひんぱおー、シロシロー、
わわ、わわー、わわー、わわー、わわー、わわー、
わわ、わわ、わわー、わわー」

美紀

美紀
「はあ、はあ、妹に、んん♪」
「んなエッチで厭
らしい耳舐めされるなんて、ちゅ♪ ぢゅりぢ
りゅりゅりゅ～～～♪ んん♪ プはつ！
はあ、はあ……♪ んん♪ きっと世界でお兄
ちゃんだけだよ～♪」

「さあ～むら、わのわの、かきぶぶ～、ちむ
～、ぢむのの～、ぢむぶ～、んん～、れ
るるるるるる……ぢむ、ぢむじむ～、れ
れり、んり、んじむ～、ぢむ、ぢむ」

「おちんぽじつい
耳舐めされながらの手コキオナ
ーーハ んんハ
気持ちいいんだあハ よハく言
えましたハ」

美紀

美紀

「ほりへ、おちんぽおちんぽへ、シロシロへ、シロシロへ、おちんぽじつぱい手のひらで膾めてイ」「うねる、せむせむ、おちんぽンロシロヘ
おちんぽンロシロヘ」

美紀

「んん、はあ、はあ……、お兄ちやんつたら、
おちんぽからダラダラおちんぽ汁垂らしちゃつ
てえ、きつたな、い童貞汁の匂い、」」までも届
いてるよお」

美紀

「んん、スン、スンスン、はあ……、
「れえ、すい」「、童貞くわいじ、ふふ
ふふ、ほんと、童貞特有のこの匂いって何なん
だろうねえ？ 今まで見てきたショタ童貞ちんぽ
もみんな同じ匂いさせてるんだもん。ほんと不
思議へへ」

美紀

「はあ、はあ……、おちんぽへ、おちんぽおち
んぽおちんぽおちんぽへ、ねえねえ、お兄
ちやん、もひとシロシロへ、いぱい童貞おち
んぽけ出しつれ、もひと私に童貞の匂い嗅がせ
てへへ」

美紀

「んん、スン、スンスン、すううへへへへ
はあへへへへ……、すううへへへへ
はああああ……、んん、「れえ、クセ
になつあやつよおおへ」

美紀

「やあ、匂い嗅いでるだけで」「おまん」「濡れてきちゃつたあ、えくへへ、そうだよ~。妹のおまん」「お兄ちゃんつたり、おちんぽの匂いだけで妹をメスにしちゃうんだもん」「罪な変態さんだね~」

「そんな変態お兄ちゃんには、耳舐めの刑でお仕置きしてあげちゃうから♪」

「それじゃあ、今度は反対の耳にいへ……♪」

「あーーーむぐぐ ちゅふ ちゅーーーふ ちゅふ
れーーーーーーー れるれるれるれるふ んーちゅ
ふ ちゅふ じゅふーーー ちゅふ ちゅふーーー
んふーー れるれるーーーちゅふ」

「んんん、るうぐ、お尻ひやん、んちゅ、
ぢゅう、ちゅふつー、ぢゅふふつー、ちゅ、
ちゅう、ちゅばつー、はあ、はあ……、
」このお耳も犯してあげるからねえ！」

美紀

「れるれらへ わせん！ んんへ わせへ わせ
ふつ！ れるれらへ ふううううへ わせへ
えくくへ もうと興まで犯してあげるねへ」

美紀
「んぶつ！ ちゅ～ ぢゅ～ぶぶつ！ ちゅ～ぶつ！
ちゅ～！ れりゅつ！ れりゅれりゅれりゅれりゅ
……～ んん！ んぶつ！ ブブつ！ ちゅ～
ぢゅ～ぶぶぶつ！ ぢゅ～ぶぶぶぶぶぶつ！ ん
ぶつ！ ぶはつ！ はあ、はあ……～」

「せふつ！ んんん んちゅつ！ れりゅれりゅ
ちゅん ぢゅりゅつ！ んぶふつ！ れるれる
れるれるん わゆん ちゅ、ちゅん すううう
ううう ふうううううううううううううううう

「あん♪ やあ♪ お兄ちゃん？ ダメだよお？
ゞれぐせに紛れておっぱい触るつとしちゃ♪ ん
～めつ！ なんだから♪」

「ん、ちゅ～ お尻わやんせ触つわやダ～メ～は
ふつ！ ちゅふつ！ れるれるれるれぬ～ ん～
ちゅ～ えくく～ お尻わやんせ私のされがま
ま、童貞ねちくせシ パシパシすればいいの～」

美紀

「ほひせりへ ハラハラへ シロシロへ おちんぽ
おちんぽへ おちんぽおちんぽへ シロシロ
シロシロへ シロシロシロシロへ」

美紀

「ちゅへ ちゅぱへ れるれるれる……んうれるふ
ちゅへ ちゅへ ぢゅりゅりゅりゅつ… んんへ
ぢゅりゅりゅりゅりゅりゅりゅりゅりゅりゅりゅ
ぶつ… んんへ はむつ! ちゅへ ちゅへ
ちゅぱつ… ん、ちゅへ れるれるへ れるれろ
れるれろへへへ」

美紀

「んへ おちんぽおへ んへちゅへ 童貞おひん
ぼおへ いじよおへ ちゅへ はむつ! ちゅ
ぶつ… れるれろへ じつぶあい氣持ちよくなつ
れえへ おちんぽおへ おちんぽおちんぽおへへ
んむつ… ちゅへ れる、れるれる…ちゅ
へ」

美紀

「あうんへ お尻ちやん涎だらだらへ 口開きつ
ぱなしだしじへ アヘ顔目前つて感じで…あは
ははへ なうにい? 変なお薬でもキメちやつて
るのおり? パパパパへ 流石の童貞でも「」までの
の変態は中々いないと感うなへ」

美紀

「お兄ちゃんの変態♪ 変態変態♪ 変態♪ 妹の舌で感じてシロシロしちゃう童貞♪ 変態マゾさんだ♪♪ あはは～♪ おちんぽいじねえ♪ 気持ちいいねえ♪ おちんぽおちんぱ～♪ シロシロしよつねえ♪ おちんぽシロシロ♪ おちんぽシロシロお～♪」

美紀

「ん？ あん♪ 体すりご靈れてる～♪ イクの？ 妹に罵られていつかやうのね？ ザコザコ童貞ちんぽ射精しちゃうのね？」

美紀

「ふふふ～ おちんぽいじよ～ イッちやお～ ん～ 妹の乳首見ながら耳舐めされて、童貞ザーメン♪ も詰てちやお～♪」

美紀

「ほりほり～ おちんぽ頑張れ～ おちんぽ頑張れ♪ シロシロひゅひゅ♪ シロシロひゅひゅ♪ おちんぽおちんぽ～ おちんぽおちんぽお♪ おちんぽおちんぽ～ おちんぽおちんぽおおおおおお～」

美紀

「あ、きやああ～？ わつ！ お兄ちゃん！ 濟い！ おちんぽ凄いよお～ これ、びゅびゅびゅ～つて、あ、きやつ～ やつ！ ダメ！ かかってるから～ おちんぽミルク、んん～ やあつ～」

美紀

「ひやつりー んん！ ちょいとまつ！ んんん
ん！？ んんつ！ ん！ ひやつ！ はあ、はあ
……んん！ お兄ちゃんの馬鹿あ……髪にまでか
かつて……「ううう……童貞おちんぽ凄いい♪」

美紀

「んひやつ！ ええ！ まだ出て！ ひやつ！
やあつ！ んつ！ ちょいと！ お兄ちゃん！
つたらあ……「うう……むづ興奮しそぎだよお…
……♪」

美紀

「はあ、はあ……んん、ふううへへ えくへへ
やつと落ち着いてきたかな？ んんへ 濟い匂い
♪ おちんぽミルク……お兄ちゃんのミルクう…
…ん、じゅぬへ ジュヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌ
くつ、「ぐく、「ぐく、「ぐく……「うううへへ ちょつ
とクセがあつておじいじい♪」

美紀

「ん？ えくへへ ちょっとやりすまちやつたかな
♪ お触り禁止コースでおちんぽミルクを飲んで
あげるなんて、普通はしないんだからね？」

美紀

「でももへ 「これで覚えてくれたかな？ 女の子の
勃起乳首とエッチなみ・み・な・めへ」

美紀

「普段見てるあの子はこんな乳首なんだって想像
できるようになつたでしょ？ ピンク色で、形も
綺麗でへ 一人で寂しくオナニーすると勃起し
ちゃづち・ぐ・びへ」

美紀

「ほーりん お兄ちゃんの好きなアイドルもきっと
今頃乳首オナニーで勃起乳首を虐めてるかもしれ
ないよ~ オナニーイクらム イクイクイツ
クううう……つて~」

美紀

「えへへへ 童貞のお兄ちゃんには刺激が強すぎた
かな? でもムハ 本番はこれからだよ? 次は
童貞卒業には欠かせないお勉強ム そム おまん
このお勉強ム 一緒に頑張ろうねム」

◆トトシク〇〇

美紀

「お・ま・ん・！」ム おまんこム おまんこおム
えへへへ ドリル お兄ちゃんム おまんこひで
言われるだけで興奮しちゃう~」

美紀

「そム おまんこのお勉強ム ちょっとと童貞のお
兄ちゃんには刺激が強すぎるかもしれないからね
ム まづ」「うやつて耳元でおまんこつて響きに慣
れさせないと、いざおまんこ見た途端、びゅびゅ
うつて射精しちゃうかもしれないからム」

美紀

「ほーりん お・ま・ん・！」ム おまんこおまんこ
ム お・ま・ん・！」おム エヘヘヘ おまんこ
だよーへ おまんこおまんこおム おまんこム
お・ま・ん・！」おム」

美紀

「ねえム お兄ちゃん? 今ね? 私のおまんこど
うなつてるか分かる?」

美紀

「ふふ、聞こえた？ やつだよお、やつもお兄ちゃんの為に乳首オナーリーしてる時からね？ 私のJKおまんこ、すっかりぐちゅぐちゅに濡れちゃったの♪」

美紀

「女の子はね？ 勃起乳首をイジイジすると全身が敏感になって、おちんぽ欲しじょ、おまんこぱくぱくせわやうのお♪」

美紀

「ほりゃ、今から私の右手をパンツの下……おまんこの中に入れちゃって……」

美紀

「ひやつん、や、あん、え、えくく、すつ、い、これ、自分で驚いた、こんなに濡れるなんて……あん、やあ、凄い、軽く触つただけビクつてしまやうお♪」

美紀

「ねえ、お兄ちゃん、興奮してくれてる？ ん、いいじね、お勉強にはまぢ興味を持つても、わなくちやダメだから、しつかり想像して、おまんこをイメージし、いっぽい興奮してえ♪」

美紀

「ほりゃ、んん、おまんこ、おまんこお、お・ま・ん・」、お・ま・ん・」お、妹のくぱくぱくおまんこお、くわくわおまんこお♪」

美紀

「んん♪ はあ、はあ……ダメだよ、お兄ちやん♪
まだシロシロしゃダメ♪ 今は我慢してえ♪
童貞ちゃんぽはただでさえ我慢弱いんだから、ん
ん♪ 今の内に、あん♪ んん♪ 我慢を覚えと
かないとダメだよ~♪」

美紀

「はあ、はあ……えくく♪ もひとおまん♪の響き
に慣れようね♪ おまん♪♪ おまん♪♪ お
まん♪おまん♪お♪ ぐちゅぐちゅおまん♪に、
いっぱいおちんぽ入れたじよ~♪ おまん♪
いよね~♪ はあ、はあ……♪」

美紀

「おまん♪♪ おちんぽ♪ おまん♪♪ おちん
ぽお♪ はあ、はあ……おまん♪好き~? 妹お
まん♪あをき~? 入れだし? おまん♪入れた
いのね~♪」

美紀

「ふふ♪ でも、ダメ♪ 想像の中でだけ犯し
て? 童貞らしく、頭の中でおまん♪犯していく
ぱい興奮してね♪」

美紀

「はあ、はあ、んん♪ せつりう♪ はあ、はあ：
……ふうへへへへ」

美紀

「えくく♪ ひとまずおまん♪轟きは」これで終わり
♪ ジリ~♪ おまん♪の響きには慣れてくれた?
う~、あはは♪ お兄ちゃんつたら歯食いし
ぱつちやつてえ♪ 1回出したのシロシロしたく
て堪らないんだ♪」

美紀

「じゃあ「」からは生のおまん」の形を勉強しよう
か、あはは、ちょっとね、お兄ちゃん鼻息
荒すぎご、樂しみにしてくれるのは嬉しいけ
ど、もうちょっと大人しくしていばあへ」

美紀

「ほりほり、お座りお座り、ワソロハ、つ
て、えくく、ほんとにお座りしちやつてえ
んも、可愛すぎるおまん」をよんきよんしちや
うよへへ」

美紀

「んん、はあ、はあ……、やあ、私のおまん
」も期待しかやつて、んん、「れしゅ」「か
もお……過去一に興奮したる……おまん」洪水止
まんないよおへ」

美紀

「じやあ、じくよ、現役JKのパンにおまん」、
見せちゃうからね、とわざわざパンをまく
「お、ん、ほり、それ……」

美紀

「はりはり、見せちゃつた、お兄ちゃんにおま
ん」パンシ見せちゃつたあへ」

美紀

「あつら、じ、お兄ちゃん、ピンク色のパン
ツに透けたおまん」、ビリビリ今まで浮き上がっ
てて……Hツチ？ Hツチかな？」

美紀

「ひやつら、お、お兄ちゃん、ダメだよお
……そんな近づいたや、おまん」に当たつやう
か、ダメ、ぬつーだよー」

「はあ、はあ……♪ ん♪ いじこじこ♪ その
ままおちんぽ勃起させながら待て！ だからね？
じじい、分かった？」

「よしよし♪ それじゃあ」のままパンツを脱い
て……」

「ひやん♪ やあ♪ おまん」蒸れてたからスー
スーする♪ えくへへ♪ お兄ちゃん♪ ど
う♪ 念願の生おまん」だよ♪」

「現役JKの生おまん」♪ しかも発情中の♪ 「ん
なエッチなおまん」中々見られないんだから♪
ラッキーだね♪ お兄ちゃん♪」

「ほーり♪ ぐぱあ♪ おまん」ぐぱあ♪ お兄
ちゃん♪ 初めまして♪ 美紀のおまん」で
す♪ ♪ お兄ちゃんちんぽで興奮したお
まん」♪ です♪ おまん」おまん」♪」

「見てみてえ♪ 」♪ おまん」の先つま♪
♪ ふくふくで膨らんでる♪ 」♪ クリトリスつむづ
んだよ♪ って、流石の童貞お兄ちゃんでも「れ
ぐらじは知ってるか♪」

「でも生クリトリスは初めてだもんね♪ よく
覚えとくんだよ♪ 」♪ はね♪ 女の子が一番敏
感になっちゃう所なんだから♪」

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

「皮に隠れてるクリを出して……んあ！　きやんつー？　んん♪　やあ♪　剥いただけでイキそうになつちやつた♪」

美紀

「んん♪　」を優しく触りながら、おまんこの中をダヒダをかき分けてえ……んん♪　あ、あ、あ、あん♪　やあ♪　おまんこお♪　気持ちいいよお♪」

美紀

「はあ、はあ……♪　んん♪　おつり♪　それでえ、」♪♪♪　おまんこの中を見える。ちつちやい穴があるでしょ？」

美紀

「下の穴がセックスする為のおまんこ穴で、上の穴がおしつける為の穴だよ。童貞は興奮するとよく間違えちやうから覚えておじいね？」

美紀

「つて、んん♪　やあ♪　解説中にい、んん♪　あつー、だめえ♪　おまんこひくひくしてるとらあ♪　せつう♪　鼻息かけちやダメだよお♪」

美紀

「おまんこやんなに好きい？　えへへ♪　じゃあ特別に私がおまんこでの手マンの仕方を教えてあげる♪」

美紀

「まずはおまんこに入れる指を濡らして……つて、あ。ローションが無いや」

美紀

「仕方ない。じゃあ指を唾液で……ん～ちゅ～ れ
るれる、ちゅ～ んじゅつー、 ジュ～♪♪♪♪♪ー
ん♪♪ー！ れろれろれろれろ……ん～じゅつー
れろ♪♪ちゅつー！ ちゅ～ ちゅ～～～～～ん
じゅつー！ ちゅぱあー！」

「はあ、はあ……んんん」それで良し♪ そのままおまんこに入れてえ……」

「ひやーん♪ やあ♪ おはー！」寝る間髪の間に、
はあ……♪ 『んな、んん♪ ヨロヨロになつて
るなんて♪ せりかり♪ しゃじよお♪ お
兄ちゃん♪』

「はあ、んん、あ、ひやん、ねまん」の「
ハニワ」がき分けてしまふおもしろいお肉巻つけ
♪ 膣中でぐちをぐちをかき回すのお♪」

「んん♪ ねえ♪ おまんこ見てえ？ お兄ちや～ん♪ おまんこぐわぐわする所いつぱい見てええ♪」

「はあ、はあ……♪ あん♪ やあ♪ おまん」お
♪ 指出し入れしてえ♪ んん♪ ぐちゅぐちゅ
♪ ぐちゅぐちゅう♪」

「」、「おまん」の入口上を、んんん「」、「やつて、クイツてするとお……」、「ひやうううう！」
あつ！ やあつ！ あんつん！」

美紀

「あつらり、 セレ、 リリをクイクイすると感じ
ちゃうのね、 女の子は……んん、 女の子
なんかじゃなくってえ、 発情したメスはあ
みゅんな」「やつておまん」すると一回のスケベ
なメスになるのね。」

美紀

「ああ、 あん、 おまん」からお汁洩れてえ、 え
くく、 女の子のメス汁だよお、 あつ、 んん、
おちんぽと回じで、 女の子もHシチする時にお
汁洩れちゃうのね。」

美紀

「はあ、 はあ……ねえ、 お兄ちゃん、 妹のおまん
こ汁、 舐めて、 もちろんベジドに零れたお汁だ
よ。 おまんには触れちゃだめ。」

美紀

「ほり、 わんちゃんみたいにれるれるじるじる
るひし、 舐めて、 な・め・し。」

美紀

「わやあ、 お兄ちゃんたら本漬に舐むじる。
ベジドに零れたおまん」大ら、 んん、 あああ
ん、 「れしゃ」とお、 おまん」オナニー
摵つちやう、 おまん」じをぶじをぶ激しくなつ
あやつるおお、」

美紀

「ほり、 お兄ちゃん、 おかわりだよお、 んん
、 やれやれ、 おまん」じをぶじをぶ、 お
まん」じをぶじをぶお、」

「舐めて、舐めて、おまんこからじつぱいお糞
を出しあげながらおまんこを洗う」

「ぐ、飲ませてあげるからあ～」

「はあ、はあ♪ あつう♪ やあ♪ やりあ♪ 指
止まんない♪ おまんこ弄るの止められないよお
♪」

「はあ、んふ　あ、あ、あ、ああ♪　んん♪　は
ひゅつ！　んん♪　んあつ！　あ、あ、ああ♪
おまん！」いい♪　おまん！」お♪　おまん！」おま
ん！」おまん！」おおおおお……」

「やあ、イク！ イッちやつ！ おまんこナ
ニーでイクう！ お兄ちゃんに飲ませながらイフ
くハリハリハリハリハリハリハリ…！」

「んひやああつ！ やあつ！ おまんこおおおひ！
やあつ！ んんんん！ おまんこダメつ！ こ
んなの知らない！ おまんこお！ おまんこしゅ
ごいいいへ 撮れひやううううつー」

「はうはうはう！ 「れつ！ やつ！ お兄ちゃんの
顔、潮で濡れて！ ひやつ！ 止まらな、い
い！？ んひやああつ！」

美紀

美紀

「ひゃわあああああああ！ んああつ！ また、お
まん」おおおおー！ おまん」「らめええ！
やあつ！ らめなのおおおつ！ おまん」吹い
ちややああつ！ おまん」ジュー・シユうううー！
んんこつ！ やらあつ！ あ、あ、あああつ！
やあらあああー！」

美紀

「はひつ！ んはつ！ はあ、はあ、はあ、はあ、
……んんつ！ はふつ！ ひやつ！ はあ、はあ、
……んんつ！ ん、んはつ！ はあ、はあ、
あつ！ あ、あ、はあ……はふううう……」

美紀

「んん♪ やつと、落ち着いてきた……はあ、はあ
……んもう、おれかこんなにイッちゃうなんて、
ううう、予想外だよお……」

美紀

「ふう、ふう……んん、ねえ、お兄ちゃん？ ちや
んと私がイク所見てくれた？ 女の子のイカせ
方、分かってくれた？」

美紀

「つて、あらり♪ お兄ちゃんつたらおまん」ジ
ュース舐めるのに必死になつちやつて……♪ 本
当にワンちゃんみたいだねえ♪」

美紀

「ほーらお兄ちゃん♪ おまん」ジュース美味しい
でちゅか♪ 妹の搾りたてほかほかのおまん」
ジュースでちゅよお♪ ほーらペロペロ♪ ペ
ロペロ♪」

美紀

「んん♪ 無心にペロペロするお兄ちゃん♪ とつ
てもエッチで無様で……んん♪ 興奮しちゃう
よおお♪」

美紀

「ん？ あれ？ もう全部舐めちゃったの？ もう
♪ 必死すぎじゃ♪ 全く、おまんこ授業の途中に
ジュースを飲み始める生徒なんて聞いたことない
な♪♪ お兄ちゃんたら不良生徒さんだね♪」

美紀

「つて、あれ？ お、お兄ちゃん？ ん？ やつ、
え？ ちょ、顔そんな近づけちや……あつ、
ちょっとまつ！ それは許してない、つて、
ひやああああつ……？？」

美紀

「きやああつ…？ お、お兄ちゃん！ そんなつ！
やつ！ ダメえ！ おまんこしゃぶりつい
ちゃつ！ ひやんつ！？」

美紀

「ちょ、ちょっと… ダメだつてばあつ！ お触り
なんて契約違反つ！ ひやああつ！？ んんつ！
やあつ！ ちょつ！？ ぢゅるぢゅる吸わない
でつてばあつ…！」

美紀

「ん、んん！ やあつ！ お、おまんこ舐められつ
るなんてえ！ は、初めてなのにはい！ んんつ！
ひやつ！ あつ！ ちょつ！ やあつ！ そ、
そこおつ！ おまんこ舐めつ！ んんつ！ は
うううう…」

美紀

「んんっ！ ちょいと！」の変態！ 変態お兄ちゃんんっ！ んはつーはつー やつーちよつ、まつーダメつーおまんこつーおまんこりあつー」「やつー

「いつたばつかりで、んっ！　あ、あ、あ、あっ！　敏感にいつ！　なつてるか、らあ！　んんっ！　やっ！　ダメ！　ちょっ！　そこはクーリトリス…………はうううううつーー？」

「ひやあああああつ！ んんつ！ ほんとダメつ！
ダメだつ、つて、ばあつ！！ んんつ！ いい
加減にして、お兄、ひやんんつ！！？？」

「んああつ！ やつ！ そんな吸つちやつ！
やああつ！ ば、バカあつ！ 「んなと」「ろで勉
強の成果、発揮しなくて、いい、のおお！ ん
んつ！ やあつ！ はうううつ！？」

「はあ、はあ、はあ、はあ……んつ……やつ……」
「ああっ！ ダメ！ ほんとにダメ！ おまんこイ
ク！ こんな変態に、おまんこ舐められて、ん
んっ！ イク！ イクイクイクイクっ！ イ
くうううううううううううううううううつ！

「んひやああっ！ やっ！ ああっ！ やっ！ や

めつ！ んんつ！ ちよつ！ ダメだつてつ！
やつ！ んあああつ！ お兄ちゃんつ！ お兄
ちゃんお兄ちゃんつ！」

「んんんんっ！！！ んはっ！ はっ！ はっ！ は
うううっ！ んんっ！ やあ、止まんない……お
まんこ汁止まんないよお……」

「やあ！ お兄ちゃん飲んじゃダメえ……」おまんこ汁飲んじゃやらあ……んん！ やつ！ それ、やあつ！ おまんこの穴だからあ！ おまんこジース出ちやう、また出ちやうのおおおー！」

「ひやあつー ダメ！ イクつー イクイクつー…」

「ニ」やあああああああああああああああああああ
……？？」「

「ふふうー、んはい、あ、あ、あああ……おお、お
まん！」ね……、おまん！」いつてりゅう……おま
ん！」おまん！」ね……おまん！」ねね、お、お、お、お

美紀

美紀

「んひふへ やあひあへ 童貞のお尻ひやんなんか
にひ……へ んふへ イかされる、なんてえへ
んほつへ ね、おおねおへ イギコううへ おま
んじトイキのにおおへ」

美紀

んひいいい♪ おまんこね、また吹いてええ♪
おまんこね、おまんこまんこまんこまんこまんこ
んこおおお んあああ やあああ 気持ち、いい
のおへ せ、せへ せひをうう

「ん、んん♪ お、お兄、ひやん……♪ 飲ん
れえ♪ おまんこジュー……♪ 全部飲ん
れえ……♪」

「わい、イキしながへん。頭回んにやじらへ 契
約とかもうじいのねへ おまえ」おへ 気持ちよ
くなりやのおねへ おまえ「おまえ」おへ おま
え」「描ねれえへ」

「んん♪ はつ♪ はあ、はあ……んん♪ あ
うう♪ お、やん♪ はあ、はあ♪ んん♪
おまん」気持ちいい♪

美紀

「お兄ちゃんをひざまずかせて、おまんこ舐めさせ
るなんてえふ んんふ 童貞の授業にしては、
あ、ああふ 刺激が強すぎ、かもおふ んんふ
あんふ」

美紀

「はあ、はあ……ふ ん、大分お掃除出来てきたか
な……ふ んんふ はい、お兄ちゃんふ ペロペ
ロストップだよふ つて、あ、口ラ！ お兄ちや
んストップ！ ストップだつてば！」

美紀

「んっ！ ひやっ！ やつ！ お兄ちゃん！ ダ
メ！ 落ち着いて！ 落ち着いてって……え?
やつ！ ちょ！？ ふええ！？ ひやわあ
ああつ！？」

◆トライシク〇4

美紀

「んんっ！ やつ！ ちょ、お兄ちゃん！ ただで
さえルール違反なのに押し倒すなんて！ これ私
じゃなかつたら訴えられてるよ？ つて、え?
お、お兄ちゃん？ 顔近……て、や、まさか、
え？ や、やつ！ やつ！ やだつ！ やめつ！
ひいいいり……ふ！」

美紀

「んん！ ん！ んんんん！？ んんっ！?
ちゅ！ ちゅふつ！ ん、んんっ！ ちゅふつ！
ちゅ、ちゅ……ちゅうう……ちゅ……」

美紀

「はっふつ！ んあつ！ やつ！ お、兄、ちやん！
やぬつ！ んふうつ！ ちゅ！ ぢゅつ、れ
る、ちゅ！ ぢゅふふつ！ んむうう…!
ちゅつ！ れるれる…ちゅ、ちゅ、ちゅ、んちゅ…」

美紀

「んぶつ！ ば、ばか…んん！ ちゅつ♪
は、や、らぬえ…んちゅつ！ 」、やゅ
う…んん♪ れきなつ、あむつ！ んちゅ♪
はっふつ！ んん！ ねふつ！ ぐふつ！ う、ん
んんん！ ちゅ♪」

美紀

「れるれる、ちゅ♪ ぢゅふつ！ んん！ 私の、
んん！ 初めて…あふつ！ んちゅつ…
ちゅ、ちゅ♪ れるれる…ちゅ♪ んちゅ♪
きしゅう♪ んん！ 「んな、奪われ、んちゅ♪
ちゅ♪ んふつ！ んん！ ん、ん、ん！
ちゅぱつ！ なんてえ…」

美紀

「はっふつ！ あ、んん！ ちよつ、んちゅ♪ お、
お兄ちゃん、興奮…あむつ！ ちゅ♪ ちゅ♪
れろれろれろれろ…んん…ちゅ♪ し
しゅぎじ…♪ だ、よお♪ あむつ♪ ちゅ♪
れろれろ、ちゅ♪ んちゅ♪ はむ、れろく
ちゅ♪ れるれるれる…♪ ぢゅふつ…
ちゅ、ちゅ、ちゅ♪」

美紀

「ふはつ！ はあ、はあ、はあ…♪ ねう♪
んん♪ やあ♪ びやくやに紛れて胸…あ
うう♪ 觸らない、どく♪ ひやう…♪」

美紀

「やあ… んん！？ ちゅ～ れる、れろれる…
ちゅ～ ちゅ、ちゅ～ はむ、ちゅ～ うう
…ん～ ちゅ～ ちゅ、れろれる… ちゅ～
ちゅ～ ちゅ～」

美紀

「んん！？ ふはつ！ ひやつ！ ひ、らぬつ… そ
こ、乳首…？ んん！ はうう！ 勃起乳首だか
らあ～ コリコリしちゃ…あううう… ん
んつ… ちよつとつ… んん！ ちゅ～ は
ふつ… れろれる… ちゅ～ ちゅ～」

美紀

「んん！ んひやつ！ 指使い、これ、私と同じ…
…あつ～！ 童貞のクセ、にい！ んん…
やあつ～！ はあ、はあ…～～～ や、やつきの乳首
オナニーで覚えたの？ 虚でしょ…お兄ちゃん
んつたら、こんな物覚えがいいなんて、聞いて
な、いい…？ あつ～ やん～」

美紀

「んひやつ…？ はあ、はあ…～～～ らめえ～～
ふつ… ちゅ～ はむ、ちゅ～ れろれる…
ちゅ～ ちゅ～ んちゅ～ はふつ！ んん！
ん、ちゅ～ れ～ろれるれる… ちゅ～ はあ、
や～あのお～！」

美紀

「おっぱいもみもみなんて、卑怯……んん！　は
むつ！　ちゅ♪　はぷつ！　あ、やつ！　キス、
んん！　やつ！　ひやん！？　んああつ！　あ、
あ、あ、あああつ！　ほんとダメ！　お兄ちゃん、
上手すぎ！　ど、童貞のクセにい！　童貞の
変態のクセにい！…」

「んあああつ！　あ、あ、ああつ！　やつ！　ら
めつ！　乳首イク！　まらイク！　乳首でおまん
こイッきをううううううう…？？」

「んつ！　んんんんんんんんんんんん…？？」

「はぶつ！　んんんんつ！　やめつ！　あぶつ！
んちゅつ！　そんな、いつてりゅ、んん！　ちゅ
♪　ちゅぶつ！　れろちゅぶつ！　のにいつ！
ぶはつ！　はあ、ら、らめえあつてばあ！　イキ
ながらきしゅなんれ…んん！？　ちゅつ！
ちゅぶつ！　はぶつ！　んん！　ちゅ♪　ちゅ
ぶつ♪　れりゅれりゅれりゅ…んん♪　んぶ
ぶつ…」

美紀

「ん、んんつ！　ぶはあつ！　はあ、はあ、はあ、
はあ……はあ……ふううう……まつた
くう……まつたくまつたくうう！　ぶぐうう
うう！　こんな事許した覚えはないのにい！　妹
のファーストキスを奪って、あまつさえ妹乳首を
弄るなんてえー！　バカ！　バカバカ！　バカお
兄ちゃん！」

美紀

「むう～～！ にやにやするな～～！ 童貞のくせに童貞のくせに童貞のくせ～に～～！
くうう！ 何かこのままだと尺全としない……
だつて！ これじゃあ私が童貞のお兄ちゃんなんかにイカされたおまんこガバガバJKつて事になつちやうじやん！」

美紀

「もしそんな事が友達にバレたらと思づと……
ううう！ ダメダメ……そんなのダメええ！ ん
ん！ えいっ！」

美紀

「はあ、はあ……もう！」まで来たらお触りNGとか
どうでもいいよね？ イカされっぱなしは絶対許
せないし……んん！ はあ、はあ……」のまま本
番セックスでお兄ちゃんの童貞奪つて、ひいひい
泣かせてあげる！」

美紀

「んっ！ こら！ 逃がさないん、だか、らつ！
えい！ 大人しくして、つてえ！ お兄ちゃ
ん！」

美紀

「はあ、はあ……んん！ お兄ちゃんの童貞は、私
が、奪つて……んんっ！ あげ……るうつ！！
んっ！ んん！ い、いたつ！ いいつ！？
んっ！ はつ！ はあ、はひつ！ んん！ つ
ふ！ んんんん！！」

美紀

「あ、ひやああああああつ！？ 痛つ！ いつつ
ひやい！ んん！ あつ！ はつ！ はつ！ は
ひつ！ ん、んんつ！？ やつ！ ちよつ！ こ
れ、おつき！ あ、んんつ！ んやつ！ ひや
わああつ！？」

「はつ！ はひつ！ お、お、おおおおつ！ ヤ
バ！ お、おおおおおお！ おまん！」おつ！
んなおつきじの……お、お、お、お、お、お、
「もれりゅ！ もれりゅうううひひ！」

美紀

「んひひああああ……おまん！」お… や、ら
めええ！ イキ癪つじて、あ、お、お、お、お、
おまん！」イキしづめつめのおおおおお……」

美紀

「はつ！ はひつ！ ひやふうへ……へ はあ、
はあ……へ ん、あ、あ、あつあつうう……へ
んんへ 童貞の……クセ、にじ……へ ちよつと
女の子の感じると」、んんへ 教えたら……
はあ、はあ、すぐ応用効かせてくるん、だからあ
♪」

美紀

「あ、はあ、はあ……んんへ ほんと、信じらんないくらい、優秀なおちんぽ……ん！ はつうつ！
はあ、はあ……へ んんへ」

美紀

美紀

「ふううう、でも、んん♪ 本番セックスでは負け
ないんだから♪ ん、おまんこ教師としてえ♪
んあ♪ あんつ♪ あ、んん……♪ この変態お
ちんぽにい、おまんこの気持ちよさ、教え込んで
あげる！ んん！」

美紀

「はっ！ はっ！ はっ！ んあっ！ やっ！
ん、んん！ はあ、はあ！ ど、どう？ 私のお
まんこ、は！ ん、はっ！ はあ、はあ、ん！
キツキツで、んん！ 気持ちいい、でしょ？」

美紀

「ふえ？ ん、んん！ そう、だよ！」のおまん
こは、んん！ まだ、お兄ちゃんしか入った事の
ない、んん！ 神聖な処女、んん！ おまんこ、
なんだか、らあ！」

美紀

「きやつ！ あ、あ、あああつ！ んひいつ！
お、おほつ！ んん！ はあ、んひやつ！ ああ
♪ んん♪ そ、そう！ いい！ イイ感じだ
よお♪ お兄ちゃん♪」

美紀

「ふううう、ん、あ、おまんこが、処女だつて、今
更気づいたの？ ん、んん！ んひやつ！
はあ、はあ……♪ んん♪ ま、まあ、潮と一緒に
に血も流れちゃつたから、んん！ 気づかないの
も、仕方ないかも、だけ、ど！ ん、あん！」

美紀

「ほんと、童貞は、何も知らないんだから♪ ん♪
あ、あ、やつ！ きやん♪ んん♪
わやつ！ んん！ わんな怒った、てえ…？
やつ！ ちよつと、お兄ちゃん！ おちんぽお！
おまん」の奥までえ♪ トロトロになつてえ♪
んあつ！ あ、あ、あ、あああ…！」

美紀

「はつ！ ひやつ！ ちょ、ちよつと！ お兄ちゃん
は動いちゃダメ！ ん、んん！ 私が！ ん、
セックスの気持ちよさ教え込むんだからあ…！
んあつ！ やつ！ あ、あ、あん♪

美紀

「はあ、はあ…♪ んん♪ ああん！ やつ！
ん、ん、ん、んんん♪ はあつ！ 「うやつ
てえ♪ 腰を上下に、んん♪ 振つてえ！ お
まん」ピストン、んん♪ あううう！ してあげる
ねえ♪」

美紀

「ん、ん♪ あ、あ、あ、あん！ あ、はひゅうう
♪ はあ、はあ…♪ ん♪ ほら、いつちに♪
いつちに♪ はあ、はあ、ん♪ おまん」パ
ンパン♪ おまん」パンパン♪」

美紀

「ビハンド♪ おまん」ピストン♪ ん♪ あ、
あん♪ 現役JKの、おまん」ピストン♪ はあ、
はあ…♪ 気持ちいいでしょ？ ん♪ ん♪
いいよね？ いいよね♪？」

美紀

「「」、ん、よ〜く見て？ はあ、はあ……おちん
ぽ入つてゐるおまんこお♪ んん♪ 入口広がつて
るの、見える？ ん、んん♪ んあ♪ あ、あ、
あ、あああ♪ ヅ、ヅツ？ 」のビラビラあ♪
おまんこの花びらを『えぐつて♪ んん♪ おち
んぽ入つてゐるのね♪」

美紀

「あ、んあ♪ あ、あん♪ はあ、しつかり、んん
♪ 覚えてね？ ん♪ あん♪ 万が一、んん♪
おまんこセックスのはずがアナルセックスに
なつたりしたら、んん♪ お兄ちゃんは恥ずかし
くてお外歩けなくなつちゃうかも、ん♪ しれな
いもんね♪」

美紀

「ん、んん♪ んあ♪ あ、あん♪ はあ、は
ひつ！ お、おほおお♪ そ」お♪ いいのおお
♪ んひいじ♪ おまんこ、そ」お♪ 入口上え
♪ え、えへへへ♪ サスガ変態さん、だねえ♪
おまんこオナニーの事、覚えてたんだ……あん
♪」

美紀

「そう、そこお♪ おまんこの敏感な所お♪ ん
あつー やつ、あん♪ はあ、はあ……♪ おま
ん♪ お、おまんこ」のズボットおお♪ カリで擦
るよつにい♪ 引つ搔いてえ♪ あ、あ、ああ！
あん♪」

美紀

「ふふふお、お尻ちやうん、んん、あん、
おちんぽ上手、おちんぽ上手う、あ、あん、
」んな、ルール違反の本番授業なんてえ、特
別、なん、だからあ、あ、ああん！」

「はあ、はあ……♪ ん、そりだよ? お兄ちゃん
だけの特別♪ んん♪ あ、やん♪ 童貞で可哀
そうな、んん♪ お兄ちゃんの為にい♪ 生意氣
なお兄ちゃんおちんぽに、んん! あ、ん、あ
ん! え、えへへ♪ おまんこを、いへつぱい
教え込んであげるんだからあ♪」

美紀

美紀

「さひゅーーー、お、お、お、お、お、ん、」
やあーーー、しな！」さなおおへ、お兄ちゃんのおち
んほおおへ、相性よしをぎりをよおおへ、んん！
んあああーーー、おまん！」おへ、アシュアシュ
てしてえへ、んんへ、はあ、はあ、はあ、はあ、ん
ひやああへ、氣持ちいいのおおへ」

美紀

「はあ、はあ、はあ……あん♪ やあ♪ んもう!
お兄ちゃんのおちんぽ最高すぎで、」れじや
あ、あん♪ んん♪ また私もイかれちゃうか
「うあ……」

美紀

「特別に、んん♪ おまんこしながらあ♪ 耳も犯
してあげる♪」

美紀

「はむい！ んん♪ ちゅ♪ んちゅ♪ れろれる
……ちゅ♪ ちゅ♪ はっふー！ んん♪ じゅる
るるる♪ んちゅ♪ れろれろれろ……んん♪
わな♪、ぢゅぱー！ れるれる……ちゅ♪ ぢゅ
ぱぱー！」

美紀

「んん……んぱぱー… ふはー… はあ、はあ：
…♪ んん♪ あひひひ♪ やあ♪ おちんぽ大
きくなつてる♪♪ んん♪ 耳舐めでまた興奮し
てえ♪」の、変態♪ 変態変態♪ 変態おにく
ちやん♪」

美紀

「れーーー♪ れろれろれろれろれろ♪ じゅりゅ
りゅりゅ……んぢゅーー！ ぢゅぱぱー… ちゅ♪
ちゅぱー！ んむーー！ ちゅ♪ じゅりゅりゅ
りゅ♪ んちゅ♪ はむい！ ちゅ♪ れろれろ
……ちゅ♪」

美紀

「んんん、んちゅん、さあ、さあ……ん、ちゅん、
んんん、お兄ちゃんのね耳、おじひじん、んんん
あ、あんん、やあん、勝手にい、おわんぱ動か
しちや、んんん、いなえん」

「もう、負けないんだからあ……♪ ははは！
んっ！ んちゅ♪ れろれろれろれろ♪♪♪ ん
ぶつ！ はあ、んん♪ イタズラ好きな生徒
はあ、んん♪ 妹先生がお仕置きしちゃいますう
♪」

「ん~わな~、れぬれぬ~、じゅ~う~う~う~、じゅる
るる~う~、んん~、あ~、あ、ああ~、ねち
んぽお~、スキー~、」のねちんぽおまん「」に
ぴったりでえ~、あ、ああ、ああん~、やあ~、
おちんぽに恋しちゃ~うだよお~、お尻わや~
ん~」

「はむりへ ん、んん？ むふふへ れろれろれ
るへ わせへ んちせへ れろれろ、ちゅへ
ちゅ、ちゅりうへ んぱつ！ はあ、んん
へ お兄ちゃんへ おちんぽ震えてるうへ なあ
にへ 好きって言われて興奮しちやつたあ？」

美紀

「で～も～ 私が好きなのはお兄ちゃんのおちんぽだけだよお? お兄ちゃんの事なんて～ ん♪ あ、あん♪ 」おちんぽのオマケでしかないんだからあ♪」

美紀

「ん～ちゅ～ ちゅ、ちゅ～ 「いやつてキスしてあげるのも～～ 大好きなおちんぽに喜んで欲しいからでえ～～ お兄ちゃんの事なんて、んん♪妹に発情する変態としか思つてないもん♪ えへへ～～ この変態♪ 妹に童貞奪われる情けない変態お兄ちゃん♪」

美紀

「ん、あ! あ、んん♪ やあん♪ もう♪ ほんと可愛いなあ♪ そんな泣きそうな顔されたらあ～～ ああん♪ おまんこキュンキュンしちやうよおお♪ 」ねんね～お兄ちゃん♪ ん、んん♪ 半分は、冗談だからあ♪ ほ～～♪ お詫びに……♪ おまんこキュンキュン おまんこもつときゅ～～♪」

美紀

「まだ開発したての処女おまんこお♪ 妹おまんこ好きになつてしまふ おちんぽでおまんこの形よく覚えて～～♪」

美紀

「はあ、はあ～～♪ ん～～ちゅ～～ れられる、ちゅ～～ ん～～ちゅ～～ れ～～～～ れるれるれろ♪ んん♪ おちんぽしづきい♪ おちんぽお♪ おちんぽ大しゅきい♪」

美紀

「わゆふ ガヌルルハ！ ガヌブツ！ ん、ちゅ
れろれろれろれろハ んちゅハ ちゅ、ぢゅ
りゅりゅりゅう～～～ハ プはつ！ れろれろハ
ん、れ～ろれろれろハ ちゅ、ちゅハ」

「んん♪ おちんぱん♪ おまん♪で、パンパン♪
おまん♪パンパン♪ ねえお兄ちゃん?
はあ、はあ……♪ もうイクう? 妹の処女マン
♪でもうイウちやう?」

「えぐくへへ、うしやへへ、せへひへ、すらりとねじ
まへる」わなへわなへ繩ねじ絞つてねじねへ、せへ
いの枝ねまへるだめへへ、ねまへるねまへるねへ
わなへへへへ、わなへ、わなへへへへへへ」

「や、イケ、いつかやええ、お兄ちゃんの初
おまんこ、射精……、んん、あ、あ、んあっ！
妹のおまんこ、リラックスしたロリロおまん
こに、いっぱい膣中出ししてやー」

「ほひあ♪ イケ♪ イケイケイケイケ♪ ♪ おち
んぽイつちやえ♪ おちんぽイつちやええ♪ ♪
♪♪ んん♪ おちんぽひゅつひゅ♪ おちんぽ
ひゅつひゅ♪♪♪♪♪」

美紀

「んうー、ひやー、ああああああー！？？
ひやああー、お兄ちゃんー、あ、んあ
ああー、おちんぽ出でるー、お、おちん
ぽおおー、れえ、ねかんぽ出でるのにおお
♪」

美紀

「ひやああー、あ、あ、ああああー、
れえ、れがおまん！」膣中出し、んんん
♪ おまん！」膣中出し、いいよお、ん
な気持ちいいなんてええ、あ、ああああー！
んひやああー、れしゃ！」じ、
のおおお♪」

美紀

「はー、やー、ん、お。おまん！」おお
んああ、やああ、おまん！」溢れる、おま
ん」の奥うう、子宮にびゅ、びゅられ
てえええ、んあー、あ、あああ、気持ちい
いよおおお♪」

美紀

「んん、んはー、はあ、はあ……、やああ
おちんぽいい、ん、膣中出しセックシ
ュウ、んああ、やああ、らじしゅきに
なつひや、ひ、ん、ん、あ、あああ……、
おまん！」おお、おまん！」おまん！」おおお
ああ……♪」

美紀

「はあ、はあ、ん♪ はあ、はあ……ふうううう……
…♪ んん♪ え、えへへ♪ お兄ちゃん? ど
う? 妹まん」のお味は? え、えへへ♪ 本當
は!」までするつもりなんて無かったけど……♪
ん♪ 結果的に、ん、本番までやつちやつた
し……♪ 「これは言つておかないとね……♪」

美紀
「はあ、はあ……ん♪ ね、おにいちゃん♪ 童貞
卒業おめでとへへ♪ どうにも気持ちいい童貞セ
ックスだったよ? んうううちゅ♪」

美紀
「えくへへ♪ お兄ちゃんたら顔真っ赤♪ ほん
と可愛いな♪ もひへへ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

美紀
「んん? あれれ? お兄ちゃん、もしかしても
うおまん」授業終わりだと思つてる?」

美紀
「契約満了まであと数時間残つてるんだから♪ そ
れに、私はまだおまんこに襲い掛かつた事許して
ないんだからね?」

美紀
「だ・か・ら♪ まだまだいっぽい女の子のおまん
こ♪ 変態おちんぽに教え込んであげるからね♪
♪」

美紀
「ん、ちゅ♪ えくへへ♪ 次は反対のお耳を攻めな
がらおまん」セックスしてあげる♪」

美紀

「んん♪ お兄ちゃん♪ ハハハハハハハハハハハハハハ
♪ やあん♪ おちんぽビクビクしてえ♪ やあ
♪ ダメだよ♪ わんな暴れちゃおちんぽミル
ク溢れちゃう♪」

美紀

「ん、あ、やあ♪ しゃきゅ♪ ねむんぽしゃき
しゃきゅ♪ んん♪ んあ♪ あ、んうちゅ♪
じやあ動くね? おちんぽミルクとおまんこジ
ュース、おまんこでグチュグチュ混ぜようね♪」

美紀

「ん、んん♪ あ♪ あああ♪ ん♪ い♪ お
♪ お兄ちゃん♪ んお♪ お、おおお♪
んほおおお♪ おまんこね♪ いよおお♪」

美紀

「んん♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ はあ、はあ
♪ おまんこ♪ セッキッシュ♪ 何度やつても凄
いのおお♪ んあああ♪ これええ♪ お兄ちゃん
のおちんぽにハマッちやうだよおお♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ んん? いいの? 妹の
ザーメン塗れのおまんこ、気持ちいいの? え
へへへ♪ 嬉しいなあ♪ ん♪ もうと嬉しい感
じでぇ♪」

美紀

「あ、あ、あ、あああ♪ お、おまんこね♪ んん
♪ これえ♪ おちんぽ激しくってえ♪ やあ♪
入口擦れて……んん♪ や、ああん♪ クリい
♪ しゅ♪ じよお♪ んん♪ もうとお♪ もつ
としてえ♪ お兄ちゃん♪」

美紀

「ん、ん、ん、んんひー、んああひー、やつー！
あああへ、おまんこおおへ、はあ、はあ、んへ
くちゅへ、ちゅ……れろれろ……ちゅへ、ちゅ
ふつー、はあ、はあ……んんへへへちゅへ」

美紀

「ちゅへ、れろれろ……ちゅへ、ちゅへ、せぱふつー！
むへへへへ、ちゅふつー、じゅりゅりゅりゅ……
じゅふつー、んんひー、ちゅへ、ちゅ……れろれ
ろ……ちゅへ、ちゅへ」

美紀

「はあ、はあ……ねにじゅへんへ、んんじゅへ
れろれろ……ちゅへ、ちゅふふつー！、ぢゅりゅ
りゅりゅへ、じゅふふつー！、んちゅへ、ちゅへ
はあ、はあ……ふううううううへ」

美紀

「おちんぽパンパンへ、おちんぽパンパンへ、んへ
ちんぽおへへ、んあへへ、あ、あ、あああひー！
ちんぽへ、ちんぽへ、ちんぽへ、ちんぽおお
へ」

美紀

「ん、んんへ、ん、んんへ、はあ、ちゅへ、れろれ
ろ……ちゅへ、ちゅへ、ちゅへへへ、れろれろへ
へへ、れへへ……じゅふふつー！、ぢゅるるるへ
へ、んちゅへ、ちゅへ、はあ、はあ……ムフー—
へ」

美紀

「お兄ちゃん見てえ？ おまんこ、パンパンしてる
とこりへへ、んんへ　じじへ 処女だつたおまん
こがあ……へ　んんへ　んあつ！　あ、やんつ！
お兄ちゃんの童貞おちんぽに開発されてえへ
んんへ　お兄ちゃんの形に広げられちやつてる
のおへ」

「はあ、はあ……へ　んんへ　じじへ　おまんこ
の穴へへ　ん、やつへ　あうう！　んんへ　真っ
赤になつてえへ　んんへ　これ、お兄ちゃんのお
ちんぽが大きくて擦れるからだよー？　んんへ
んあつ！　んくちをへ　ほんと、凶悪な童貞おち
んぽなんだからあへ」

「んあつ！　やつ！　あ、ああへ　んんへ　本當な
らあへ　サーモンピンクの綺麗なおまんこだつた
のにいへ　んんへ　やあへ　エッチに赤くなつ
てえへ　んあ！　は、は……へ　やあんへ　ん
あつ！　ちょ、ちょいとお兄ちゃん！　また大き
く……ひやあつ…？」

「んああつ！　あ、あ、あ、あああつへ　ぴゅつ
ぴゅしたばかりなのにいへ　んんへ　もうこんな
に、んん！　お兄ちゃんつてば、やんへ　絶倫さ
んなのかなあ？　はあ、はあ……へ　やあへ　こ
れは、んんへ　予想外につ！　優等生おちんぽか
もおへ　しれないかなあへ」

美紀

美紀

「ん、ん、んん♪ はあ、はひゅー！ んん♪
やあ♪ おまん♪お♪ ピリピリ捲れてえ♪ ん
ん♪ 「れ、聞じなくなつちやううう♪ ぴちぴ
ちおまん♪ びるびるになつちやううううう♪ ん
んん！…」

美紀

「はひゅー！ あ、あ、ああ♪ ん♪ ねえ、お
兄ちゃん……♪ はあ、はあ……お、おまん♪、
好きい？ 妹おまん♪、好きになつてくれて
るう？」

美紀

「はっふー！ ん、ちゅ♪ ちゅぱぱー！ んん♪
お、おまん♪はねえ♪ おわんぽの事お……ん
ちゅ♪ ちゅるるる♪ じゅうううう……ちゅ
ぱー！ え、えくへへ♪ 好きになつちやつた
のおね♪」

美紀

「んん？ ちゅ♪ じゅぱぱー！ れるれるれれ
ろく♪ お兄ちゃんのお♪ おちんぽ欲ちい欲
ちじつときをりあをしてねえ？ おちんぽお♪
おちんぽお♪ つて欲しがつてるのお♪
♪」

美紀

「はっふー♪ ちゅ♪ れるれるれるー♪ おちん
ぽお♪ んんん♪ おちんぽおちんぽおー♪
はっふー♪ ちゅ♪ れるれる♪ んん♪ 「れ
が発情おまん♪の味だよお♪ お兄ちゃん
♪」

美紀

「んっふつー、ちゅー！ れりゅれりゅ……ちゅー
んっふつー！ ちゅ、ちゅぱつー はあ、はあ……♪
JK握手に、んん♪ 「んなトロトロおまん！」セ
ックス出来るなんていえ♪ せっぷつー んくーちゅ
♪ ラッキーだねえ♪ んん♪ やつー ああん
♪」

美紀

「はあ、はあ、ん、んん♪ れー♪ れろれろれろ
れろー♪ ちゅー♪ ちゅ、ちゅ、ちゅー♪ んくーちゅ♪
ぢゅりぢゅりぢゅりぢゅー♪ んふつー！ れーー…
…♪ れろれろれろれろー♪ ちゅ、ちゅー♪

美紀

「やあ♪ おまん♪パンパンしてえ、これえ♪
ザーメン♪と愛液混ぜ混ぜしてえ♪ 泡立つてる
よお♪ んん！ やあ♪ん♪ ドスケベクリーム
作っちゃってるのね♪ はあむつー！ ちゅー♪ ん
くー♪ れろれろー♪ れーーーられられられろ
れろ♪」

美紀

「んちゅー ちゅ、ちゅーー♪ ちゅぱつー！ ん
ちゅー♪ はむちゅぱつー！ んん♪ なあに？ そ
んなおまん♪見ちゃつてえ？ もしかして♪
このドスケベクリーム飲みたいのー？ ふくん♪
お兄ちゃんの変態♪ ハツチ♪ スケベー♪」

美紀

「はむへん んんへん かゑへ せひ、イヘレハ
おちんぽひゅうひゅう おちんぽひゅうひゅう
んうれれれれれれれれ んうひゅうひゅう
ひゅうひゅうひゅう」

「んー、んんんんんんーー、ふせーー、あ
あああう△、おちんせおね△、しち△よおお△
おまん△にひぬひぬ△出しえ△、ん、ん△、
んひやーー、あ、ああ△、おまん△じ△のお△
ん△、熱く△え……△、ねばねば△出しえ△、ん
ん△、はひゅう△ーー、ん△、いじょお△、全部
出しえ△、おわんせミルク全船出しえええ
△」

「ハハハ ハの調子でえへ んんへ あ、ああへ
んあああへ せりせりあへ ひゅうひゅへ
ひゅうひゅへ おちんぽひゅうひゅへ おちん
ぽひゅうひゅへ」

美紀

美紀

「はあ、はあ……んん♪ あああん♪ やあ♪ い
いよお♪ お兄ちゃん♪ 好きい♪ おちんぽ
好きい♪ ちんぽ、ちんぽお♪ ちんぽ、ちんぽ
♪ ちんぽ♪ ちんぽおおお♪」

美紀

「んやああ♪ 気持ちいい♪ おまん」せつぐ
しゅうう♪ おまん」お♪ いいのお♪ んん♪
ん、あ、ひやん♪ はあ、はあ……ん、あん♪
おちんぽ、収まつてきたあ♪ え、えへへ♪
はふううう♪」

美紀

「はあ、はあ、はあ、はあ……♪ ん、ん♪ お
兄ちゃん♪ お疲れ様でしたあ♪ んん♪ は
ううう♪ 「んなにおまえ♪」に出して……♪
あ、やん♪ 零れわやつ……♪ おまん」からと
るとろりとれ♪ 溢れてえ♪ ひうりう♪ あつ
たかうい♪」

美紀

「えくくく♪ ふうう♪ 何かいいね、」ついうの
……♪ 事後つてじうのかな? 甘い空氣で、ん
ん♪ 久々にお兄ちゃんに甘えちやおつかな……
♪ すりすりうう♪ すりすりうう♪」

美紀

「んん♪ 何だかお兄ちゃんに好き勝手された事ど
かどうでもよくなつてきわやつた♪ セック
スつてこんな素敵なんだね♪ んん♪ もつと
早くエッチしとけば良かつたなあ♪」

美紀

「ん？ あれ？ あれあれあれ～？ なあに～？
お兄ちゃんつたらあ～ もしかして嫉妬しちやつ
たの？ 別に私が誰とHシチしたつてお兄ちや
んには関係ないでしょ～？」

美紀

「ん～ ピピウ～ あは～ あははははは～ ん
もう～、冗談だよ、じょ・う・だ・ん～ 知らな
い人とセックスなんてしたくないしね～ これか
らもいつも通り本番無しおまんこ勉強プランだけ
しかしないから～」

美紀

「ええ？ それもダメなの？ むう～……でも！」
の仕事なくなっちゃうとお金に困りちゃう～…
むうう～我儘だな～」

美紀

「どうしでも止めりつじうなら、これからはお兄
ちゃんが私と契約してくれる？ セ～ おまんこ
家庭教師の～」

美紀

「もう童貞卒業支援じやなくなりちゃうけど、これ
からはお兄ちゃん専属のおまんこセックス家庭教
師として、おまんこのいろんな楽しみ方を教えて
あげるよ～？」

美紀

「例えばおまんこにジユースを注いでちゅうちゅう
吸つたり、おまんこの毛を剃つてみたり♪ 更に
は膝枕じやなくてオマンコ枕してあげたり♪ お
まんこにはまだまだ色んな楽しみ方があるんだか
ら♪」

美紀

「もちろん有料だけどね、 ミリ。 契約してみる?」

「ん♪ オッケー♪ 契約成立だね♪ えへへへ
これからも、妹の体でいっぱいおまんこのお勉強しそうね♪ お兄ちゃん♪」

◆おまけトランク05 オナサボ淫語手コキ♪

「はーじ♪ 今日もいっぱいセックスのお勉強をしていこうね♪ お兄ちゃん♪」

「つて、ふふふふふふ、まだ始まつてもいいのにおちんぽ丸出しにして♪ しかもおつきい♪

んん♪♪ 相変わらず変態なんだね♪ 変態♪
へんたう♪」

「あはは♪ まっただビクトリしたあ♪ スンスン♪
スンスン……♪ せつりり♪ 濃厚なおちんぽの匂い♪♪ おちんぽお♪ おちんぽおちんぽ♪
♪」

美紀

「んん♪ なあにい♪ おちんぽついで言われてまた興奮してるのぉ? はあ♪ ほんといふえ性のないダメちんぽだな♪ 「んなのがお兄ちゃんなんて恥ずかしくなつちやうよお♪」

美紀

「そんなダメダメお兄ちゃんには、少しでも淫語に慣れてもらうために、今日はじいっぱい、ヒッチな事囁きながら、手・口・きくしてあげるね♪」

美紀

「んん♪ お兄ちゃん嬉しぃ♪ ピンまだ育えひ
れるか見ものだね♪ それじゃあ、こつぐよ
う♪」

美紀

「ほりほり♪ しゃーじーじーじーじー♪ お
ちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽお
♪」

美紀

「おちんぽおちんぽ♪ ねかべぬかべぬかべ
ちやんちんぽ♪ 変態ちんぽ♪」

美紀

「やん♪ サイ♪ ぶねえ♪ おちんぽビクビクし
てえ♪ シロハコシロハコ♪ シロシロハコハコ
♪♪♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ おちんぽお♪ おちんぽ
おちんぽお♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪
ちんぽ♪」

美紀

「ほりほり♪ 頑張れ頑張れ♪ 負けるな負ける
なおちんぽ♪ 頑張れ頑張れお・ち・ん・ぼお
♪」

美紀

「んん♪ お・ち・ん・ぼお♪ おちんぽおちん
ぼお♪ おつきなおちんぽ♪ ハツチなおちん
ぼお♪」

美紀

「おちんぽ頑張つてえ♪ いっぱい我慢してちん
ぽ汁垂れ流して♪ それそれ♪ ちんぽ♪ ち
んぽお♪ おちんぽおちんぽお♪」

美紀

「ん、ん、んん♪ ちんぽお♪ ちんぽスキ♪
ちんぽちんぽお♪ お兄ちゃんちんぽ立派あ♪
大きいおちんぽ好きい♪ 大好きだよお♪ お兄
ちゃんのお・ち・ん・ぽ♪」

美紀

「ふふふ♪ おちんぽおちんぽおちんぽお
♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おち
んぽ♪」

美紀

「ちんぽちんぽお♪ あきあきちんぽお♪ お兄
ちやんちんぽお♪」

美紀

「あん♪ お兄ちやんのおかんぽ、おまん♪に欲し
いよお♪ ねえ♪ おちんぽ欲しい♪ おちん
ぽお♪ おちんぽおちんぽお♪ おちんぽ頂だ♪
い♪ おちんぽ欲しい♪ おちんぽお♪ おちん
ぽおちんぽお♪」

美紀

「おまん♪お♪ おまん♪おまん♪お♪ ねえねえ
♪ おまん♪好きい? 妹おまん♪好きい? ん
ん♪ ちゅ♪ はあ♪ おまん♪お♪ おまん
♪おまん♪お♪」

美紀

「まん♪お♪ まん♪お♪ おまん♪お♪ おまん♪お♪
んん♪ おちんぽ欲しい♪ おちんぽお♪ お
ちんぽ欲しい♪お♪ んん♪ ちんぽ♪ ちんぽ
♪ おちんぽおちんぽお♪」

美紀

「おまんこ入れて、トロトロおまんこにじ、お
ちんぽお、勃起おちんぽお、ちんぽ、ちん
ぽ、ちんぽちんぽちんぽちんぼお」

美紀

「妹おまんこお、発情おまんこお、まんこ」
「まんこ」お、おまんこおまんこお、んこ、まん
こ入れて、おまんこおまんこお、まんこま
んこまんこまんこおお」

美紀

「んん、ちんぽお、ちんぽお、おちんぽ欲し
い、おちんぽ欲しいの、お兄ちゃんのお、勃
起おちんぽお、おまんこに欲しいよお、おま
んこお、スケベおまんこお、んこ、おまん
こおまんこ、おまんこおまんこお」

美紀

「んん、もう一つやじゅう、んん、やだ
、お兄ちゃんもうと頑張りて、妹のお手
手おまんこなんかに負けないで、おちんぽで
勝つて、生意氣妹をわからせて、」

美紀

「頑張れ頑張れおちんぽ、頑張れ頑張れお・ち・
ん・ぽお、ほらほら、おちんぽの匂いじえ、
おまんこもお、ドンドン濡れてきて、この
まま頑張れば妹をわからせられるかもよお?」

美紀

「おちんぽ気持ちいい、おちんぽ気持ちいい、
おちんぽおちんぽお、おちんぽおちんぽお、
勃起おちんぽ、変態おちんぽ」

美紀

「お兄ちゃんのおちんぽえへ 発情おまんこねへ
メスにしてえへ 妹おまんこオナホにしてえへ
おまんこおまんこへ 妹おまんこへ オナホおま
んこへ お便器おまんこねへ 使い捨ておまん
こねへ」

美紀

「あ、ああへ おちんぽびくびくしてえへ イクん
だね？ いじよへ 負けを認めるならイッてい
よおへ せりせりあへ お兄ちゃんのおちんぽ
は、妹のお手手オナホにイカされたザコザコおち
んぽでちゅうつて言いながら情けなくイッてえ
へ」

美紀

「私の命運と同時に敗北宣言するんだよ？ ほり
へ セヘのへ」

美紀

「お兄ちゃんのおちんぽは、妹のお手手オナホにイ
カされたザコザコおちんぽでちゅうへ」

美紀

「あ、きやああんへ おちんぽすいへいへ ぴゅ
ぴゅうって出でえへ んんへ いいねえへ おち
んぽ気持ちよれやうだねへ」

美紀

「それそれへ ぴゅうぴゅへ ぴゅうぴゅへ お
ちんぽぴゅうぴゅへ おちんぽぴゅうぴゅへ
へ」

「んん♪ はあ♪ いっぱい出たね♪お兄ちゃん
♪ って、お~い、お兄ちゃん? あら~り、
持ちよすぎでトんじやつたのかな? ふふふ♪
ほんとなつさけないな♪♪」

「全く、意識が戻つたらまた補習だからね?
い~つぱいひゅつひゅしてあげるんだから♪ 覚
悟してね? お兄ちゃん♪」

- ◆ おまけトラック⑥ 左耳舐めループ
- ◆ おまけトラック⑦ 右耳舐めループ
- ◆ おまけトラック⑧ 両耳舐めループ